

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 12 月 2 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (12/2 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 1.9 m ³ /h	23.1 °C	106.5 kPa abs	A系： 0.13 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.10 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.4 m ³ /h	31.8 °C	7.95 kPa g	A系： 0.08 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.08 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.4 m ³ /h	31.1 °C	0.23 kPa g	A系： 0.12 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.09 vol%

*1：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

- ・11/12～12/3 (予定) 1号機原子炉压力容器への窒素封入が停止した際に、予備として原子炉格納容器へ窒素封入を維持するため、O₂サンプリングラインを用いて、段階的に流量を変更する試験を実施中。

【3号機原子炉建屋5階中央部近傍(機器貯蔵プール側)での湯気発生状況】

- ・H25/11/30 7:56 頃 湯気をカメラにて確認。(気象データ [11/30 8:00 時点]: 気温 4.0°C、湿度 83.5%)
※プラント状況、モニタリングポスト指示値等に異常なし。
- ・H25/11/30 9:30 頃 湯気をカメラにて確認できないことを確認。(気象データ [11/30 9:30 時点]: 気温 9.9°C、湿度 70.4%) ※プラント状況、モニタリングポスト指示値等に異常なし。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (12/2 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	16.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	14.3 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	12.0 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	22.1 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

- ・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。
- ・H25/11/28 13:42 4号機使用済燃料プール代替冷却系の一次系ストレーナ交換作業を行うため停止。なお作業は 11/30 までを予定しており冷却停止時の使用済燃料プール水温度は 23.0°C。冷却停止時のプール水温度上昇率評価値は 0.306°C/h で停止中のプール水温上昇は約 16°C と評価されることから、運転上の制限値 65°C に対して余裕があり、使用済燃料プール水温度の管理上問題はなし。
- 11/29 20:06 当該系の一次系ストレーナ交換作業が終了したことから一次系の運転を開始し、プール冷却再開。プール冷却再開時のプール水温度は 28.0°C。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	12/2 9:53～ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容処理建屋 [高温焼却炉建屋])	11/6 9:27～ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (12/2 11:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	除染装置	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)	多核種除去設備(ALPS)
運転状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	B系・C系 ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3系列の同時運転を実施予定。なお、B系については、本年12月下旬頃(予定)に腐食対策有効性確認のため、処理運転を停止予定。

- ・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- ・H25/11/29 12:40 多核種除去設備(ALPS) A系について、腐食対策有効性確認のために運転を停止。
- ・H25/12/1 多核種除去設備(ALPS) C系については、11/18よりホット試験を再開しており、12/1の循環待機運転*から処理運転への移行を同日9:00に予定していたが、塩酸供給ポンプ(C)出口継ぎ手部から、塩酸がにじみ出ていることを発見したため、処理運転への移行を見合わせ、循環待機運転を継続。なお、塩酸のにじみについてはビニール袋で養生を実施。同日11:25に塩酸供給ポンプ(C)出入口弁の隔離を実施し、塩酸のにじみは10分に1滴程度で継続。また、以前より養生していたビニール袋内には、1リットル程度の塩酸が溜まっており、これについては容器に回収した。なお、隔離した範囲内の塩酸の抜き取り作業を行っており、今後、点検を行う予定。
* 循環待機運転とは、吸着設備には通水せずアイドル運転を行うモード。

- ・H25/12/2 9:40 淡水化装置2(逆浸透膜式:RO-2)を設置しているジャバラハウス内において、廃液受槽入口側の空気式作動弁のグランド部から、1秒に1滴程度、水が漏れていることを当社社員が発見。そのため、同日9:42に当該装置を停止。当該弁のグランド部を増し締めしたことにより、同日10:00に漏えいが停止したことを確認。漏れた水の範囲は約2m×約0.5m×深さ約1mm程度で、漏えい量は約1リットルと推定。漏れた水はジャバラハウス内の堰内にとどまっており、ジャバラハウス外への流出はない。その後、廃液供給ポンプを起動し、同日11:58に当該箇所から漏えいがないことを確認。また、同日12:12に当該装置に異常がないことを確認したことから、同装置の運用を開始。なお、漏れた水は吸水材により拭き取り処理を実施。
- ・H25/12/2 海側遮水壁工事における資機材搬入のため、1～4号機取水口付近に設置したシルトフェンスの開閉を以下のとおり実施。
10:30(シルトフェンス開)～10:55(シルトフェンス閉)
12:00(シルトフェンス開)～12:30(シルトフェンス閉)

< 5. その他 >

【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

<トピックス>

- ・H25/11/26 11:03～12/2 12:30 H4エリアタンクからの水の漏えいに伴う汚染の拡散防止策として、H4-No.5タンクの北東側に設置したウェルポイント(5本)から地下水の汲上げを、まずは一週間を目安に試験的に実施することとしており、12/2 12:30まで実施。今後、周辺地下水の放射性物質の濃度変化を確認し、ウェルポイントの効果を評価していく予定。

<タンクエリアパトロール実績(11/29～12/1)>

- ・高線量当量率箇所(β+γ線(70μm線量当量率))は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認が出来ていない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・サーモグラフィによる水位確認(前日撮影分の分析結果)により、タンク水位に異常がないことを確認。
- ・H25/11/30 23:00頃 パトロールにおいてC西エリアのタンク本体に付属している弁から、20秒に1滴程度の水が滴下していることを確認。その後、C-B1タンクの弁保温材テープからの水の滴下であり、同日23:50に滴下が止まったことを確認。水の滴下痕の範囲は20cm×30cm程度、滴下痕の表面線量等量率はβ+γ線およびγ線で0.02mSv/h(床面から5cm)であり、周辺バックグラウンドと同等であることから、保温材に溜ま

っていた雨水が滴下したものと判断。

<H4 エリア周辺のサンプリング実績>

・11/30 に採取した観測孔E-1における全ベータおよびトリチウムは11/29 に採取した分析結果と比較して低い値となっている。

【観測孔E-1の分析結果：(11/30 採取分)】

- ・全ベータ 5,800Bq/L
- ・トリチウム 18,000Bq/L

【観測孔E-1の分析結果：(11/29 採取分)】

- ・全ベータ 38,000Bq/L
- ・トリチウム 360,000Bq/L

その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

<トピックス>

・1・2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット（南）地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は12/2 0:00時点で約6,119m³ *集水ピット（南）およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

・前回採取分の測定結果と比較して有意な変動なし。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。

地下貯水槽 No. 3の漏えい検知孔北東側の水の全ベータ値が11/29 に採取した水の分析結果で8.6Bq/cm³、11/30 に採取した水の分析結果で13Bq/cm³、12/1 に採取した水の分析結果20Bq/cm³へと緩やかに上昇しているが、これは地下水の上昇を再度確認したことから、念のため11/28より、地下貯水槽の浮き上がりNo. 3の防止工事を実施しており、その影響と考えている。その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して有意な変動はない。

・H25/10/3～ 地下貯水槽 No. 1の汚染範囲調査開始。

・H25/10/23～ 地下貯水槽 No. 6において浮き上がり対策を実施中。

・H25/11/15～ 地下貯水槽 No. 5において浮き上がり対策を実施中。

・H25/11/19～ 地下貯水槽 No. 1において浮き上がり対策を実施中。

・H25/11/28～ 地下貯水槽 No. 3において地下水の上昇を再度確認したことから、念のため11/28より、浮き上がり対策を実施中。

以 上